

**「広島県『みんなで減災』県民総ぐるみ運動推進会議」構成機関の  
平成 28 年度の実施状況及び平成 29 年度の実施等について**

## 【広島市自主防災連合会】

行動目標	H28年度の取組状況等	H29年度の取組等	課題等
知る	まちあるきや防災マップの作成等を通じて、地域の災害危険箇所、避難場所や避難経路などを確認 ⇒ 防災マップを約200地区で作成	継続して取り組む。  防災マップは、388地区で作成予定	○ 地域により取り組みに対する温度差がある。 ○ 各世帯にマップを配布した場合に紛失や捨てられない工夫が必要
察知する	災害時における地域の連絡網に固定電話に携帯電話を加えた情報伝達連絡網に加え、班単位でお互いに避難を呼びかけ、行政等が発信する避難情報などの入手手段の確保及び地域内へ伝達	継続して取り組む。	
行動する	○ まちあるきや防災マップの作成等による災害危険箇所等の確認（避難経路上の危険箇所や迂回路の有無などを含む。）	継続して取り組む。	訓練や研修会の企画立案に精通した指導者不足
学ぶ	○ 自主防災組織等による防災訓練や防災研修会の開催  ○ 地域の各種団体と連携した防災訓練、地域の特性を踏まえた防災訓練の実施		
備える	避難場所までの避難が困難な場合などに備えて、一時緊急退避施設（商業施設（駐車場、マンション、社宅等）を確保	継続して取り組む。	

## 【広島県消防協会】

行動目標	H28 年度の実施状況等	H29 年度の実施等	課題等
知る	<p>地域と連携した、ハザードマップ等を活用した防災訓練による災害危険箇所等の確認</p> <p>⇒ 消防協会のホームページに小学校4年生から中学生までの防災教育のコンテンツを作成</p>	継続して取り組む。	
察知する	<p>県、市町等が発表する防災・避難情報の伝達手段及び住民の自主避難体制の構築</p> <p>⇒ 市町の消防団幹部等の入校や会議において必要性について繰り返し指導</p>	継続して取り組む。	市町による取り組みへの温度差があり画一的な取り組みは難しい。
行動する		避難行動要援護者の把握及び避難訓練の実施	避難行動要支援者等の情報が入手困難である。
学ぶ	<p>地域で日常的に行われている行事にあわせた訓練の実施（例：とんどでの消火訓練、炊き出しなど）</p> <p>⇒ 市町毎に実施。内容については消火訓練や、救急法の訓練が主である。</p>	<p>○ 継続して取り組む。</p> <p>○ ホームページを活用し、市町で独自に取り組んでいる活動の紹介【新規】</p>	各市町の具体的な状況を把握する必要がある。
備える		消防団が所有する機械器具を活用した避難支援体制の構築	

## 【広島県女性防火クラブ連絡協議会】

行動目標	H28 年度 of 取組状況等	H29 年度 of 取組等	課 題 等
知 る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 28 年度から新たに、自主防災組織等と連携し、防災マップの作成及び災害危険箇所を確認 ⇒ 防災マップが未作成の地区に働きかけを行い、自主防災会等に協力した。</li> <li>○ 地域、行政等と連携し、地域住民に対して災害危険箇所などの確認を働きかけ</li> </ul>	<p>継続して取り組む。</p>	<p>地域によって、活動が活発でない自主防災組織もあり、徹底させる事が困難な面がある。</p>
察知する	<p>災害発生 of 危険性を察知した際には、近隣への声かけによる避難誘導をきめ細かく実施 ⇒ クラブ員が、避難誘導等に積極的にかかわれる様、指導的立場にある者は技術を身につけるための講習を受けている。</p>	<p>継続して取り組む。</p>	<p>各クラブ単位で活動を行っているため、町場と地方との違いが大きく出ている。</p>
行動する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域住民とのつながりを深めるため地域で開催される防災訓練等への積極的に参加した。 クラブ員の関心は高く、参加は積極的</li> <li>○ 日頃から、日常会話の中で、防災に関心を持ってもらえるよう取組を実施</li> </ul>	<p>継続して取り組む。</p>	<p>若い人達に関心を持ってもらえる方法を検討したい。</p>
学 ぶ	<p>自主防災組織、消防団等と連携し、防災訓練等に積極的に参加</p>	<p>継続して取り組む。</p>	<p>高齢化しているクラブが多く訓練内容によっては難しい面もある。</p>
備 える	<p>非常持出品（非常持出袋）の備えを促進 ⇒ 最近 is 各家庭で関心も高く、我が家用の持出袋を作り、備えている事が多い。</p>	<p>継続して取り組む。</p>	<p>スーパー、ホームセンター等で目立つ場所においてほしいとの声が多かった。</p>

## 【広島県社会福祉協議会】

行動目標	H28 年度 of 取組状況等	H29 年度 of 取組等	課 題 等
知 る	市町社協が実施する災害ボランティア講座等を通じて、ハザードマップの活用方法を周知することなどにより、地域において平常時からの住民同士の支え合い活動が防災・減災につながることを確認する（知る）機会を支援	継続して取り組む。 対象：県内ボランティア等	○ 住民同士の支え合い活動の重要性の確認 ○ 講座等の機会が限られている。
行動する	職員の円滑な安否確認を行うため、 ・ 10/21（金）の鳥取県中部地震 ・ 11/4（金）の「広島県『みんなで減災』一斉地震防災訓練」 において、メーリングリストを活用した情報受発信及び安否確認を実施	継続して取り組む。（職員対象）	災害時、職員に確実にメールが届くようメーリングリストの定期的な確認が必要。（アドレス変更等への対応）
学 ぶ	○ 市町社協が実施する災害ボランティア講座等を通じて、防災・減災に関する意識啓発を推進  ○ 市町社協が災害ボランティアグループと連携して、防災の意識啓発グッズ（防災かるた、すごろく、防災ずきん等）を作成し、研修会等で活用方法を周知	○ 被災者支援に係るボランティア養成研修の実施に継続して取り組む。 → 市町社協等からの要請に基づき、災害ボランティアに関する研修や講座を通じて、実際の災害を想定した生活課題を解決する災害ボランティア活動の必要性や活動のすすめ方の普及啓発を支援する。 （対象：県内ボランティア等）  ○ 広島県内における被災者生活サポートボランティアネットワークの強化に継続して取り組む。 → 県域・市町域における会議・研修等を通じて、事例検討等を	関係機関と連携しながら、「学ぶ」機会を増やし、県域に普及させていく必要がある。

		行いながら災害時における生活支援体制（ネットワーク）強化を推進する。（対象：被災者生活サポートボラネット構成団体等）	
備える	市町社協における被災者生活サポートボランティアネットワーク向けに、その構成機関・団体、市町のFMと連携し、定期的な防災情報の発信等による災害に備える支援をした。	市町社協からの要請に基づき、社協活動事業を通じて、災害時に互助による救出活動や避難行動、安否確認ができるよう、平常時からの住民同士が支え合える仕組みづくりの支援に継続して取り組む。	被災者生活サポートボランティアネットワークの拡充。

## 【広島大学】

行動目標	H28 年度の実施状況等	H29 年度の実施等	課 題 等
知 る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 28 年度から新たに、学内で作成する「安全衛生マニュアル（平成 28 年度版）」及び学内電子掲示板に、災害危険箇所を知るための情報（広島県防災 Web、ハザードマップ、県民総ぐるみ運動ポータルサイト）の URL を記載</li> <li>○ 各附属学校の全児童・生徒・職員に一斉防災教室の教材を配布。また、電子掲示板で学生・職員に教材等を紹介</li> <li>○ 行政等が発信する情報（災害危険箇所等の確認）について、学内電子掲示板及びメール等で学生・職員に対して情報提供</li> </ul>	<p>平成 29 年度新入生に防災に関するチラシ及び教材 3 種類（総ぐるみ運動、地震・津波、風水害・土砂災害編）を配布（約 3,000 人分）【新規】</p> <p>継続して取り組む。</p>	
察知する	学内電子掲示板で、学生・職員に対して県防災 Web の周知及び防災情報メール（県・市）の登録を促進	継続して取り組む。	
行動する	災害発生時の対応に係るマニュアルについて、迅速に情報を集約できるよう見直しを実施	現状に即した見直しに、継続的に取り組み、その内容を学内に周知徹底する。	

<p>学 ぶ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本部棟で防災訓練を実施し、地震が起きた際の防災体制の確認、自衛消防隊の動きについてのシミュレーションを実施</li> <li>○ 防災意識の高揚を図るため、東広島市総合防災訓練（8/23）に参加</li> <li>○ 学内電子掲示版に非常持出品の取扱方法や防災情報等を掲載</li> <li>○ 学生・職員への安全衛生教育で、地震対策・防災情報等について周知</li> </ul>	<p>継続して取り組む。</p>	
<p>備える</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 定期的に衛生管理者及び産業医の巡視を行い、学校施設内設備の転倒防止対策・避難経路の確保等を確認・改善を行った。</li> <li>○ 専門業者による防災管理点検を行い、改善が必要な箇所については是正</li> </ul>	<p>継続して取り組む。</p>	

### 【広島県私立中学高等学校協会】

行動目標	H28 年度の取組状況等	H29 年度の取組等	課 題 等
<p>知 る</p>	<p>当協会の主催する会議や行事等の機会において、会員に対して、災害危険箇所、避難場所、避難経路の確認等に係る取組を促進</p>	<p>継続して取り組む。</p>	

## 【広島県PTA連合会】

行動目標	H28年度の取組状況等	H29年度の取組等	課題等
知る	防災事例集（（公社）日本PTA全国協議会作成中）の活用について検討	防災事例集を活用し、PTAとしての減災の取組について周知する。	
行動する	PTA組織として取り組んでいる地域の地震・津波避難訓練等への参加事例の収集	PTAとして参加している減災の取組の事例や今後の活動事例について紹介、普及を図る。	

## 【広島県商工会議所連合会】

行動目標	H28年度の取組状況等	H29年度の取組等	課題等
知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「広島県商工会議所連合会 事務局長会議（10/2）」において、「『みんなで減災』県民総ぐるみ運動における取組への協力について」趣旨説明し、管内会員への周知方協力を要請（県の「企業向け取組」と連携した取組）</li> <li>○ 「消防団応援の店」等の取組への協力について、県内会議所から管内会員への周知方協力を要請した。</li> </ul>	主催会議や行事等の機会を通じ、会員に対し、災害危険箇所、避難場所・経路の確認が進むよう取組を促す。	

## 【広島県商工会連合会】

行動目標	H28年度の取組状況等	H29年度の取組等	課題等
知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 会員（34 商工会）に対し、現有する「危機管理マニュアル」の再点検を促し、有事の際の初期動作についての確認を促すとともに、同マニュアルの策定状況などの調査（※）を実施</li> </ul>	<p>継続して取り組む。</p>	<p>（※）調査結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 策定済：2/34 商工会</li> <li>② 今後策定予定 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成 29 年度：14/32 商工会</li> <li>・ 平成 30 年度以降：13/32 商工会</li> </ul> </li> <li>③ 策定の予定なし：5/32 商工会</li> </ul>
察知する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 会員等に対して、市町の防災情報メールの登録を呼びかけ</li> <li>○ 商工会員(22,500 会員)に対して会員等に対して、広島安佐商工会青年部（8.20 土砂災害の被災体験）を中心に、災害についての意識を啓発する目的で、情報発信を継続し、消防団にも所属する県内の青年部員を核にネットワークを形成</li> <li>○ 広島県商工会青年部連合会において、自然災害等発生時の対応内容等をまとめた、災害支援ガイドラインについて協議中（H29 施行予定）</li> </ul>	<p>青年部員を基軸に、各商工会全体での取り組みに展開していく。</p>	
備える	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 危機管理マニュアル未策定商工会に対し策定の促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 継続して取り組む。</li> <li>○ 災害時等における緊急連絡体制の構築（県連合会と県内全商工会間の、休日・夜間における情報収集及び緊急連絡網を構築）【新規】</li> <li>○ 広島県商工会青年部連合会にて、災害支援ガイドラインを構築し、青年部員における有事の支援体制構築を図る。【新規】</li> </ul>	

## 【広島県農業協同組合中央会】

行動目標	H28 年度 of 取組状況等	H29 年度 of 取組等	課題等
知 る	<p>会議や研修会等の機会を利用し、災害危険箇所、避難場所、避難経路等の確認などを周知</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 11/10（木）の JA 総務担当部長会議に、県から講師（減災対策推進担当）を招き、会員組合（13JA と連合会）に対する、「みんなで減災県民総ぐるみ運動」の紹介など</li> <li>・ 12/13（火）の JA ビル入居団体会議において、避難場所、避難経路、防災訓練等について確認</li> </ul>	<p>会議や研修会等の機会を利用した、運動の周知などに、継続して取り組む。</p>	
学 ぶ	<p>1月の職員研修において、「みんなで減災県民総ぐるみ運動」の内容を周知</p>		

## 【広島県宅地建物取引業協会】

行動目標	H28 年度 of 取組状況等	H29 年度 of 取組等	課題等
知 る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 会員事業者において、不動産取引等の際に、ハザードマップ等により災害危険箇所などの情報を周知</li> <li>○ 「宅建ひろしま」への土砂災害警戒区域指定記事を継続して掲載</li> <li>○ 7月と1月に開催した「新規免許業者研修会」において、「不動産取引の機会を捉えた防災情報の周知」についての県からの資料を出席業者へ配付説明し、取引時での防災情報の周知協力を要請</li> <li>○ 宅地建物取引士を対象にした「法定講習会」（10回開催）において、県の担当職員から、上記の「不動産取引の機会を捉えた防災情報の周知」について説明し、取引時での周知協力を要請</li> <li>○ 協会ホームページに「防災WEB」バナーを掲載</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 継続して、「不動産取引の機会を捉えた防災情報の周知」と「みんなで減災」県民総ぐるみ運動の会員への周知を徹底する。</li> <li>○ 継続して、「不動産取引の機会を捉えた防災情報の周知」と「みんなで減災」県民総ぐるみ運動について、協会が実施する研修会・講習会等で会員に周知徹底し、全会員（※）の理解と履行協力を求める。</li> </ul>	<p>（※）協会主催の研修会において県が実施したアンケートでは、県と協会の協力協定に基づく「不動産取引の機会を捉えた防災情報の周知」について、4分の3の会員が何らかの形で理解</p>

## 【全日本不動産協会広島県本部】

行動目標	H28 年度の実行状況等	H29 年度の実行状況等	課題等
知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 会報誌「全日ひろしま (vol.50)」に、不動産取引等の際にハザードマップ等による災害危険箇所などの周知活動の啓発記事を掲載し、全会員に送付</li>   <li>○ 1/27 第3回法定研修会（参加人数68名）に、県から講師（講師：土木建築局建築課宅建業グループ）を招き、「重要事項説明の相談事例と防災情報周知」について啓発</li>   <li>○ 協会ホームページのトップページに               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「あなたの町のハザードマップ（国土交通省）」</li> <li>・ 「広島県防災 web」</li> <li>・ 「土砂災害ポータルひろしま」</li> </ul>               のバナーを掲載。             </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 継続して取り組む。</li>   <li>○ 県担当者を講師に招いての、会員に対する、「みんなで減災」県民総ぐるみ運動の取り組みを周知に、継続して取り組む。</li>   <li>○ 継続して掲載する。</li> </ul>	<p>どの程度会員に周知できているのかが、把握できていない。</p>

## 【株式会社NTTドコモ中国支社】

行動目標	H28年度の取組状況等	H29年度の取組等	課題等
知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「南海トラフ巨大地震」に関する勉強会を開催実施（講師：広島地方気象台）</li> <li>○ 「みんなで減災」推進大使による防災教室/講演会への参加と参加住民への「ドコモ防災ハンドブック」の配布</li> <li>○ 「新たなステージに対応した防災・減災のあり方」の勉強会参加（中央地方整備局開催）</li> <li>○ 避難訓練による事業所周辺の避難場所の確認、避難経路の確認実施</li> </ul>	<p>事業所周辺の避難場所の確認、避難経路の確認に継続して取り組む。</p>	
察知する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 緊急速報メールの活用事例を各自治体へ利用促進（積極的に活用している広島市の事例や尾道市の訓練の様子など）</li> <li>○ 災害を事前察知するための河川監視や水位、雨量監視システムを紹介。河川監視システムの導入範囲拡大を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 緊急速報メールの活用事例を各自治体への利用促進に継続して取り組む。</li> <li>○ 河川監視システム等の紹介に、継続して取り組む。</li> </ul>	
行動する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地震災害時における帰宅ルートを社員が各自で確認できるよう帰宅支援ハンドブック等を作成</li> <li>○ 全社員を対象とした災害発生時に活用する安否確認訓練を実施</li> <li>○ 台風や大雪に対する災害が予測される場合、各組織のリーダーに対して情報の発信を行い、有事の際に迅速に行動するよう実施（台風16, 18号、1月大雪等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 継続して取り組む。</li> <li>○ 継続して取り組む。</li> </ul>	

<p>学 ぶ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各自治体の防災訓練への参加し、参加住民に、「ドコモ防災ハンドブック（※）」の配布、171 伝言ダイヤル、Web171、災害用伝言板サービスなどの連絡手段を周知。（広島県総合防災訓練等）</li> <li>○ スマホ・ケータイ安全教室にて災害用伝言板、災害用音声お届けサービスなどの連絡手段の周知と合わせて、防災ハンドブックを配布</li> <li>○ 防災訓練等において、緊急速報メールがどのような時に発信され、発信される情報内容やどのように届くか（内容による音の違い）などを周知</li> <li>○ 自社で作成した災害対応 Web トレーニング教材（教材例：個人ができる災害へ向けての準備等）を社員が受講</li> </ul>	<p>継続して取り組む。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>グループ社員、協力会社に、継続して説明。社外へも説明</p>	<p>※）防災の基礎知識や災害発生時の携帯電話の使い方等をまとめたハンドブック</p>
<p>備える</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「ドコモ防災ハンドブック」を配布 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各自治体開催の防災訓練、防災啓発イベント</li> <li>・ スマホ・ケータイ安全教室</li> <li>・ 中国地方の全ドコモショップ（防災週間）</li> <li>・ ドコモ防災訓練（3/1） など</li> </ul> </li> <li>○ 災害発生時にリーダーとして活動する人材に対して防災士資格の取得実施。（10名）</li> <li>○ 避難所等支援用物品としてマルチチャージャーを自治体・企業でもご購入いただけるよう拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 継続して取り組む</li> <li>○ 継続して取り組む。</li> <li>○ 災害に対する備えとして、自治体に対してできること、依頼したいことなどを記載したパンフレットの配布 【新規】</li> </ul>	

## 【KDDI 株式会社中国総支社】

行動目標	H28 年度の取組状況等	H29 年度の取組等	課 題 等
知 る	28 年度から新たに、社員向けHPに、社員が住む地区の避難場所・避難経路が確認できるよう、「広島県防災WEB」にリンクを張り、社内メールや安全衛生委員会等で確認するよう展開	異動による転入者に対して、朝礼やメールで周知を徹底	
察知する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 毎月初日の安否確認メールにより、非常時における社員との連絡体制に漏れがないか確認を実施</li> <li>○ 社員向け HP に、各自治体等の防災ページへのリンクを貼り、縣市町防災情報メール登録を推奨</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 毎月初日に、全社規模で、継続して取り組む。(返信不要)</li> <li>○ 上記に加え、不定期に、地区主導で、社員状況を確認する安否確認メールの実施に継続して取り組む。(要返信)</li> <li>○ 継続して取り組む。</li> </ul>	
行動する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 避難場所・避難経路を確認するよう上記の安否確認メールにおいて展開</li> <li>○ 2/18 幹部社員を対象に、非常時を想定した参集訓練を行い、参集経路と到着までの時間を確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 継続して取り組む。</li> <li>○ 災害発生を想定した幹部社員による非常参集訓練を休日に実施。自宅から事業所まで公共交通機関や自家用車を利用しないでの到達時間や衛星携帯電話の使い方等の確認を行う。</li> </ul>	・
学 ぶ	<p>28 年度から新たに、社員に対して、防災教室・防災訓練への参加を促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広島市防災センターの消防訓練実務研修に 3 名参加 (28.4~28.9)</li> <li>・ 中国地区の全拠点にて A E D 講習会を実施 (28.6 月~28.7)</li> </ul>	消防訓練実務研修への参加や、救急救命講習会の実施に継続して取り組む。	消防訓練実務研修への参加を促し、経験者を増やしていくこと

<p>備える</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県等が開催する防災啓発イベントへの参加 ⇒ 「みんなで減災」一斉地震訓練実施（11/14）</li> <li>○ 災害発生時、通信エリア確保を目的とする自治体等と連携した訓練の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広島県総合防災訓練（呉市）に、衛星携帯電話等の展示にて参加（10/11）</li> <li>・ 第6管区海上保安本部と巡視艇への通信機材積み込み訓練（2/14）</li> <li>・ 陸上自衛隊第13旅団とヘリコプターへの通信機材積み込み訓練（3/17）</li> </ul> </li> <li>○ 災害発生時の通信環境を維持するための装備充実</li> <li>○ 自衛消防隊による入居ビル避難誘導訓練（3/22）</li> </ul>	<p>（継続して、県から参加依頼予定）</p> <p>継続して取り組む。</p>	
------------	---	--	--

## 【ソフトバンク株式会社】

行動目標	H28年度の取組状況等	H29年度の取組等	課題等
知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「災害時初動マニュアル（自社作成）」の内容確認、および社員が保持する業務用携帯電話への保存、事前確認の推進（全社通達）</li> <li>○ 各拠点の避難経路について、社内イントラネットに掲載するための準備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 継続して取り組む。</li> <li>○ 各拠点の避難経路を社内イントラネットに掲載を進める。</li> </ul>	
察知する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 携帯電話販売店に「防災情報メール」説明用チラシを配置し、携帯電話の更新・新規購入者への登録を促進</li> <li>○ 社内イントラネットに防災速報アプリ（スマホ）を紹介するための準備</li> <li>○ 自社ホームページによる緊急速報メールの機能等の周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 継続して取り組む。</li> <li>○ 引き続き、登録を促進</li> <li>○ 継続して取り組む。</li> </ul>	
行動する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「災害時初動マニュアル（自社作成）」の内容確認、および社員が保持する業務用携帯電話への保存、事前確認の推進（全社通達）〔再掲〕</li> <li>○ 帰宅支援マップを社内イントラネットに掲載</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 継続して取り組む。</li> </ul>	
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「安否確認訓練」を実施し、安否登録方法を全社員が体験（5月、11月）</li> <li>○ 自社で作成した「災害時初動マニュアル」の内容について、全社員に対しeラーニングの受講を促進（全社通達）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 継続して取り組む。（年2回）</li> <li>○ 継続して取り組む。</li> </ul>	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ホームページ等において、災害用伝言板サービスなどの連絡手段を周知</li> <li>○ 全国の自治体主催防災訓練において、緊急速報メールの配信、災害用伝言板サービス、災害用音声お届けサービスの利用方法を周知</li> <li>○ ホームページ等において、緊急速報メールが、どのような時（地震、避難勧告等）に発信され、発信される情報内容（どのような行動をとればよいのかなど）や、どのように届くか（情報の種類による着信音の違い等）などを周知</li> </ul>	<p>継続して取り組む。</p>	
備える	施設内の設備の転倒防止対策や避難経路の確保	継続して取り組む。	

## 【広島県バス協会】

行動目標	H28年度 of 取組状況等	H29年度 of 取組等	課題等
知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 28年度から新たに、バスの車内に災害危険箇所、避難場所、避難経路等の確認を促す啓発資料を掲示</li> <li>○ 28年度から新たに、南海トラフ地震に備え、特にデルタ地域を走る路線バスについて、広島県防災Webなどで運行経路にある避難場所を事前に確認</li> </ul>	<p>バスの車内に災害危険箇所、避難場所、避難経路等の確認を促す啓発を行いたい。</p>	<p>災害危険箇所、避難場所、避難経路等の確認を促す啓発用ポスターを作してほしい。</p>
察知する	<p>防災情報メール、広島県防災Webなどで情報収集し、バス路線沿線の危険性を察知できるよう、会員に対して、防災情報メールの登録を呼びかけ</p>	<p>継続して取り組む。</p>	<p>会員から防災情報メール通知サービスのサイトの字が小さく分かりづらいとの声が聞かれる。</p>
行動する	<p>広島県防災Webなどの情報を会員に対し周知</p>	<p>継続して取り組む。</p>	
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ひろしまバスまつりでのブース提供「みんなで減災！！家族で学ぶ防災教室 in バスマつり」</li> <li>○ 防災教室などがあれば、積極的に参加するとともに会員に対し、参加の呼びかけを実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ひろしまバスまつりでのブース提供は可能</li> <li>○ 継続して取り組む。</li> </ul>	<p>他機関が実施する防災教室の開催情報などを提供して欲しい。</p>
備える	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 緊急連絡先・災害時の体制図または組織図・緊急災害時マニュアルの作成（大規模災害基本対応ハンドブック配布済み）</li> <li>○ 28年度から新たに、南海トラフ地震に備え、特にデルタ地域を走る路線バスについて、広島県防災Webなどで運行経路にある避難場所を事前に確認するため、バス会社において、路線バスの避難マップ等を作成</li> <li>○ 28年度から新たに、防災フェアの周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 貸切バス事業者に対しても、広島県防災Webなどで運行経路にある避難場所を事前に確認するよう促す。</li> </ul> <p>（継続して県から依頼する。）</p>	

## 【広島県医師会】

行動目標	H28 年度 of 取組状況等	H29 年度 of 取組等	課題等
知る	<p>28 年度から新たに、医療機関の待合室等にハザードマップやポスター等を掲示し、医療機関を受診した方に災害危険箇所、避難場所、災害への備えや災害時に取るべき行動などの啓発を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の各医療機関が所属する市郡地区医師会に対し、ハザードマップ等の掲示への協力について依頼文を送付</li> <li>・ ハザードマップは市町によって異なり、各市郡地区医師会への説明・協力依頼は各市町から行われることをふまえ、各医療機関における掲示状況等を調査中。</li> </ul>	<p>広島県や市郡地区医師会と、引き続き連携し、掲示が促進されるよう方策の検討や取り組みを行いたい。</p>	<p>調査途中ではあるが、市町によっては掲示のはたらきかけが行われていないケースがあるとの回答があった。</p> <p>また、ハザードマップの大きさから、掲示が難しいとの意見も見られる。今後、対応方策を検討したい。</p>
察知する	<p>28 年度から新たに、会員に対し、「避難準備・高齢者等避難開始」の発令とともに避難を開始すべきであることを、機関誌「広島県医師会速報（毎月3回発行）」において、掲載可能なスペースで周知・啓発を実施</p>	<p>「広島県医師会速報」において会員向けの防災意識・手順・サービス等の啓発を進めたい。</p>	
行動する	<p>火災の発生に備えて、事務局所在地（広島県医師会館）において、広島東消防署の立ち会いのもとで全館全職員の避難訓練を実施（3/10）</p>	<p>定期的に事務局職員向けの避難訓練を実施したい。</p>	<p>避難完了までに要する時間の短縮</p>
学ぶ		<p>梅雨入り前の時期に、事務局職員を対象として、土砂災害や風水害への備え、災害危険箇所、避難場所、避難経路の確認などを行う「一斉防災教室」を実施したい。【新規】</p>	

## 【広島県歯科医師会】

行動目標	H28年度 of 取組状況等	H29年度 of 取組等	課題等
知る	<p>医療機関の待合室等に、ハザードマップ等を掲示し、医療機関を受診した方に災害危険箇所、避難場所等を周知（28年度から） ⇒ 患者さんはもちろん、先生・従業員等も防災意識が高まった。</p>	<p>残り数地区は、ハザードマップが未配布であるため、29年度も引き続き配布をお願いし、年末までには全ての地区の歯科医療機関でハザードマップが掲示されている状況を作りたい。</p>	
察知する	<p>○ 28年度から新たに、医療機関の待合室等に、テレビやモニターを設置し、医療機関を受診した方に気象情報・避難情報を提供</p> <p>○ ラジオやスマートフォン・タブレット等、多様な手段により災害情報を正確に会員に届けるため、携帯電話への情報配信も行っている（スーパーリンクシステム）。</p>	<p>○ 継続して取り組む。</p> <p>○ 継続して、ひとりでも多くの会員が登録するよう働きかけ、会員の8割以上に登録してもらうよう、メルマガや広報誌を通じて通知したい。</p>	
学ぶ		<p>万一の災害時において、適切な行動のために必要不可欠となる、災害指示系統の確認【新規】</p>	<p>本会としては、その指示系統が確立されているものの、地区によってはそれが明文化されていない。 さらに地域と共にある医療機関として、災害時における地域との関わり合いを、十分周知しておく必要がある。</p>
備える	<p>28年度から新たに、広島県警察歯科医会を中心に、「大規模災害に備えて」という冊子のリニューアルを計画中（28年度から）リニューアルされれば、ホームページ上に掲載し、会報誌・メルマガや地区の会合において周知予定</p>	<p>防災グッズの整備 【新規】 ⇒ 避難所等における歯科領域からの支援の第一は口腔ケアであると考えられ、本会だけでなく地区歯会や歯科医院にも口腔ケアグッズ（歯ブラシ・義歯ケース・デンタルリンス等）を斡旋し配備しておく必要がある。</p>	<p>業者との連携による防災グッズの開発も必要性を感じている。</p>

## 【日本放送協会広島放送局】

行動目標	H28年度の取組状況等	H29年度の取組等	課題等
知る	○ 平時より、テレビ・ラジオの番組等において、防災・減災、気象に関する情報の提供	}	
察知する	○ 豪雨や台風、地震などの災害時には、テレビ・ラジオだけでなく、データ放送やホームページなども活用し、ライフライン情報も含めたきめ細やかな情報を迅速に提供。		
行動する	○ 今後の災害に備え、日頃から防災・減災の情報を提供		
学ぶ 備える	広島放送局のホームページに「くらしと安全」を常時開設し、防災・減災に役立つ知識や情報を提供	継続して取り組む。	

## 【株式会社中国放送】

行動目標	H28年度の取組状況等	H29年度の取組等	課題等
知る	放送番組を通じて防災・減災につながる情報を伝達	}	
察知する	放送番組を通じて注意報・警報など気象情報を周知		
行動する	放送番組を通じて避難行動につながる情報を伝達		
学ぶ	放送番組を通じて防災・減災について考えるきっかけにつながる情報を提供		
備える	テレビ・ラジオの放送番組を通じて防災・減災に向けた情報を伝達		

## 【株式会社テレビ新広島】

行動目標	H28 年度 of 取組状況等	H29 年度 of 取組等	課 題 等
知 る	<p>県の防災の取組に関する情報や、防災に関する様々な情報を、日頃のニュースや「満点ママ」の月1防災企画などで提供</p>	<p>継続して取り組む。</p>	
察知する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 注意報・警報などの情報を、定時のレギュラーニュース・天気予報内で周知したほか、夜間においては、警報・避難勧告等の災害情報を「速報」で放送</li> <li>○ 通勤・通学時間を中心に、L字放送を5回実施（6/26, 7/16, 7/17, 9/20, 12/1）し、データ放送や、ホームページで情報を伝達</li> <li>○ 特に、県防災WEBの災害危険度情報や、土砂災害危険区域に関する情報を、8月に集中的に発信</li> </ul>	<p>次のとおり継続して取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 注意報・警報などの情報をテレビの字幕で周知</li> <li>・ 災害情報等をテレビの字幕放送（L字放送等）で周知</li> <li>・ 災害時には、本放送だけでなく、データ放送やホームページ等を活用し、きめ細やかな情報を迅速に提供</li> <li>・ 正確な情報を早くわかりやすく、テレビ、ホームページを通じ、繰り返し伝達</li> <li>・ テレビ番組で県防災 Web による土砂災害危険度情報の確認方法などを啓発</li> <li>・ 大雨洪水警報や避難勧告などが出た場合、自局ホームページなどによる情報提供</li> </ul>	
行動する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ レギュラーニュースの天気予報内や満点ママの防災企画等で災害への備え、災害時にどう行動すべきか啓発</li> <li>○ 下期は特に雪による転倒、雪崩に対する対応を伝達</li> </ul>	<p>次のとおり継続して取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日頃から、より防災・減災を意識したテレビ番組内での情報露出の強化</li> <li>・ 災害に備え具体的にどう行動するのかを意識してもらうための啓発</li> </ul>	
学 ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 8.20 広島土砂災害から3年目となり特別番組を制作したほか、ミニ企画、特集で被災地の現状や災害への備えについて情報発信</li> <li>○ レギュラーニュースの天気予報内や満点ママの防災企画等で災害への備え、災害時にどう行動すべきかを啓発。下期は特に雪による転倒、雪崩に対する対応を伝達</li> </ul>	<p>次のとおり継続して取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通常のニュースに加え、特集などで災害の原因に迫るとともに、土砂災害警戒区域の指定や被災者支援などを検証</li> <li>・ 報道を通じ、県民に防災・減災について考えてもらう素材を提供</li> <li>・ 自局のホームページで、防災・減災の知識や情報を提供</li> </ul>	

<p>備える</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自局のホームページで、防災・減災に関する情報を提供</li> <li>○ 災害発生の危険性が高まる梅雨や台風シーズンは、テレビ番組で注意喚起</li> <li>○ 過去の災害発生日に合わせ、番組などで再度取り上げ注意喚起</li> </ul>	<p>継続して取り組む。</p>	
------------	--	------------------	--

## 【広島テレビ放送株式会社】

行動目標	H28 年度の取組状況等	H29 年度の取組等	課 題 等
知 る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ニュースにおいて、土砂災害の特集を放送               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害危険度情報、砂防ダムの現状及び防災土の特集</li> <li>・ 土砂災害の原因や計画区域の指定、被災者支援などを検証する特集</li> </ul> </li> <li>○ 梅雨・台風シーズンは、番組内の天気コーナーや、ニュースで注意喚起</li> <li>○ 津波の日、減災 HP などの紹介 など</li> </ul>	継続して取り組む。 加えて、「みんなで減災推進大使」の認知度の向上に取り組む。	
察知する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大雨や台風、大雪などで警報及び避難勧告が出た場合、ニュースやL字放送で情報を伝達</li> <li>○ 警報等出た場合、「速報」で避難情報を伝達</li> <li>○ ホームページやデータ放送にニュースで放送した警報情報などを掲載</li> </ul>	継続して取り組む。	
行動する	ニュースにて気象情報や避難情報を放送し、早めの避難行動を呼びかけ	継続して取り組む。	
学 ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 8.20 広島土砂災害の特集番組を、夕方の番組（テレビ派）全編通して放送</li> <li>○ 「南海トラフ」についての特集を放送</li> <li>○ 阪神淡路大震災の遺族のドキュメンタリーを放送</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 8.20 土砂災害について、継続して取り組む。</li> <li>○ 南海トラフ地震への備えについて放送</li> </ul>	
備える	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ニュース番組や特別番組で防災、減災の情報を提供</li> <li>○ 防災土について特集</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 継続して取り組む。</li> </ul>	

## 【株式会社広島ホームテレビ】

行動目標	H28 年度の取組状況等	H29 年度の取組等	課 題 等
知 る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ニュース番組で防災関連特集を3本以上放送</li> <li>○ 平成26年度広島土砂災害関連ニュースを随時放送</li> <li>○ 大雨・大雪警戒時には朝帯を中心にL字放送実施</li>   <li>○ 自社ホームページのトップページに、広島県防災WEBへのリンクバナーを掲載</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ニュース番組で広島県防災WEBの活用（土砂災害危険度情報のチェックの仕方など）を啓発する。</li> <li>○ ニュース番組で、「防災（豪雨災害、南海トラフ地震への備えなど）をテーマにした放送予定</li> <li>○ 県内で豪雨、豪雪、震度5以上程度の地震が発生した場合は、関連情報をL字放送で報道する。</li> <li>○ 大雨注意報や大雨洪水警報などの情報を字幕で告知する。</li> <li>○ 継続して取り組む。</li> </ul>	
察知する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 警報などは随時ニュース速報で対応</li> <li>○ ニュース番組内でポータルサイト「広島県みんなで減災はじめの一步」を紹介</li> <li>○ 自社ホームページのトップページに、広島県防災WEBへのリンクバナーを掲載</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大雨洪水警報や避難勧告などが出た場合、自社ホームページやSNS（ツイッター、フェイスブック）の自社アカウントから情報を発信する。</li> <li>○ 継続して取り組む。</li> </ul>	
行動する	<p>大雨・大雪警戒時には、朝帯を中心にL字放送を実施</p>	<p>ニュース番組で広島県防災WEBなどのチェックを促し、L字放送などで早めの避難を呼びかける。</p>	

学 ぶ		ニュース番組で、防災知識を紹介する。	
備 える	ニュース番組内で「ドローンで災害支援」特集を放送	災害に備える特集・ニュースを放送する。	

## 【広島エフエム放送株式会社】

行動目標	H28年度の取組状況等	H29年度の取組等	課題等
知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「私だけの防災ハンドブック」作成し、6/10までに配布終了 その後も続く多くの問い合わせに応えるため、PDF版を広島FMホームページにアップ</li> <li>○ 「みんなで減災」推進大使（広島エフエム放送 磯貝氏）が各生放送番組に出演して周知。リスナーからの反響大</li> <li>○ 「みんなで減災」推進大使の「ひろしまバスまつり」ステージ及びブースへの出演。</li> <li>○ 県が開催する一斉地震防災訓練（シェイクアウト）の周知、参加呼びかけ</li> </ul>	<p>継続して取り組む。 「みんなで減災」推進大使により、各構成機関の行っている取組内容を番組内で紹介することの検討も可能</p>	
察知する	<p>大雨や台風接近時などには、気象情報・避難情報を特に詳しく番組を通じて周知</p>	<p>継続して、きめ細かく番組を通じて周知</p> <p>災避難情報を分かりやすく伝えるためのアナウンス内容を検討【新規】</p>	<p>災害時の避難情報は、情報の整理が難しく、ラジオで伝えられる内容に限界があった。</p>
行動する	<p>県が開催する一斉防災訓練「シェイクアウト」（11/4）に従業員が参加し、その後、机の下に身を守るスペースの確保などを実施</p>	<p>継続して取り組む。</p>	
学ぶ	<p>有識者（上記ハンドブックの監修者）との情報交換の継続</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 継続して取り組む。</li> <li>○ 県内で行われている防災教室、防災訓練の周知【新規】</li> </ul>	

<p>備える</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 28年度から新たに、大使の番組出演時に県「防災フェア」の周知</li> <li>○ 梅雨や台風シーズンは、番組を通して、注意喚起</li> <li>○ 過去の災害発生日に合わせ、番組等で再度取り上げ、注意喚起</li> <li>○ 28年度新たに、番組で防災、減災に関するアイデア（※）を募集し、有用なものを番組内で紹介（9/1防災の日） <ul style="list-style-type: none"> <li>（※）番組での防災、減災のアイデアまでは、なかなか集まらなかったが、実際に行っている防災、減災についての対策などはメッセージが来た。</li> </ul> </li> </ul>	<p>継続して取り組む。</p>	
------------	---	------------------	--

## 【株式会社中国新聞社】

行動目標	H28年度の取組状況等	H29年度の取組等	課題等
知 る	○ 9/13, 社員を対象に「安全を考える集い」を開催（毎年開催）し、熊本の地元紙の記者に講演してもらい、安全の心構えを学んだ。	継続して取り組む。  グループ会社の従業員も参加する「安全を考える集い」などの研修の機会を設ける。	
察知する	○ 平成27年8月に、広島市との防災情報の提供に関する協定締結以降、防災行政無線の内容をケーブルテレビ回線を通じて宅内に設置する専用の受信機で確認できるサービスを、同年9月から開始  ○ 読者を中心とした「ちゅーピーメルマガ」受信者に対し、避難情報や地震発生情報などをメール送信 随時、使いやすいように改良	○ 継続して取り組む。  ○ 即時で、できるだけ分かり易い内容に随時改良を加えつつ、読者に対し、災害情報や地震発生情報などをメール発信し、即時に避難などの対応を促す。	
学 ぶ	ニュース記事や連載、特集などで、様々な角度から、土砂災害警戒区域等の指定や被災者支援などを検証し報道	継続して、ニュースや連載、特集などで災害時の心構えや過去の教訓について報道する。	過去の災害の教訓などは継続して報道することが重要と考える。
備 える	社内の主要拠点に、防災時の備蓄を随時積み増し	継続して取り組む。	

## 【広島地方気象台】

行動目標	H28 年度の取組状況等	H29 年度の取組等	課 題 等
察知する	<p>○ 報道機関に対して、災害発生の危険性について、わかりやすく情報を提供 ⇒ 注意報・警報、気象情報については適宜適切に発表するとともに確実に伝達</p> <p>○ 避難行動の判断材料となる気象情（雨量、注意報、警報、土砂災害警戒情報等）、河川情報及び避難情報（避難準備情報、避難勧告等）の意味と、とるべき行動、並びに情報の入手手段（テレビ、テレビのデータ放送、ラジオ、防災メール、防災 web 等）について、防災教室、出前講座、ホームページ、住民説明会、防災訓練、広報誌、広報番組等により周知 ⇒ 気象情報の利活用にかかる研修講演等について、一般の方に対し約 30 回実施。講演の際は防災メールの登録を呼びかけ</p>	<p>○ 継続して取り組むとともに、29 年度取水期を目途に実施予定である大雨警報（浸水害）、洪水警報の改善にかかる周知広報を実施する。</p> <p>○ 年に一度、報道機関、ニュースキャスター等との懇談会を実施し、気象台が発表する防災気象情報について周知啓発を行う。</p> <p>○ 継続して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出前講座については可能な限り対応し、防災気象情報について住民に対する周知啓発を行う。その他関係機関と連携して防災訓練、防災教室等に参画し、周知広報を行う。</li> <li>・ 出前講座や防災教室等の機会を利用して、防災情報メールを登録促進について周知広報を行う。</li> </ul>	
学 ぶ	<p>○ 企業・団体、防災関係機関が開催する防災気象情報に関連する研修、講演等の依頼に、約 40 回職員を派遣の上、防災気象情報の普及啓発を実施</p> <p>○ 気象庁ワークショップ「経験したことのない大雨 そのときどうする？」の普及啓発等を江波山気象館と連携して 1 回実施。</p>	<p>○ 継続して、企業・団体、防災関係機関が開催する研修、訓練、講演会等での、防災気象情報に関連する研修、後援等の依頼には可能な限り対応し、職員を派遣の上防災気象情報普及啓発を図る。</p> <p>○ 継続して、気象庁ワークショップ「経験したことのない大雨 そのときどうする？」について、関係機関と連携して、その実施の普及啓発を行う。</p>	

## 【中国地方整備局】

行動目標	H28 年度の取組状況等	H29 年度の取組等	課題等
知る	<p>イベントにおいて、降雨体験機、3D土石流体験装置等（※）を使用し、災害の疑似体験や、土砂災害について講話などを実施（延べ38件）</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>5月 土砂災害防止県民集い in 安芸郡坂町          6月 総合防災訓練 in 五日市観音小学校など4件          7月 広島市西区防災訓練 in 高須小学校など6件          8月 土砂災害パネル展 in イオンモール祇園など3件          9月 防災キャンプ in 廿日市佐方市民センターなど6件          10月 広島市スポーツフェスティバルスタジアムなど6件          11月 安佐南区防災フェアなど6件          12月 呉市昭和町自主防災訓練など3件          2月 大町地区防災訓練          3月 広島市東区牛田地区防災フェアなど2件</p> </div>	継続して取り組む。	<p>（※）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 降雨体験機（豪雨を体験する装置）</li> <li>・ 3D土石流体験装置（立体のCG、アニメーションや震動やにおいて土石流のメカニズム等を体験する装置）</li> <li>・ 土石流模型実験装置（水と小石を使って土石流を体験する装置）</li> </ul>
察知する	<p>中国地方整備局HPにおいて、以下の防災情報を提供中</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>〔全般〕 防災体制情報、TEC-FORCE 活動状況（H28.4 熊本地震、H28.9 台風10号、H28.10.21 鳥取県中部地震）          〔河川情報〕 全国川の防災情報（洪水予報、水防警報、ダム放流通知）、浸水想定区域図、水文水質データベース          〔道路〕 道路情報提供（交通規制、道路気象情報）、事前通行規制区間情報、冬季道路情報（道路ライブ画像、通行止め予定区間）          〔港湾〕 ナウファス（全国港湾海洋波浪情報網）（※）現地での情報提供を実施、河川の水位情報提供（橋梁等に大型表示板設置）、道路標識等への海拔表示          〔砂防〕 8.20 土砂災害地域における土石流警報装置（「知る」取り組みとして分類）</p> </div>	継続して取り組む。	（※）29年度は「ナウファス（Ⅱ）」

<p style="text-align: center;">学 ぶ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 防災教室，防災訓練，防災イベント等の開催 〔再掲〕</li> <li>○ 中国地方整備局出前講座（※2）の実施 （HP等で紹介し，学校関係から随時申込みを受け） <ul style="list-style-type: none"> <li>6月 防災講座 i n 広島経済大学</li> <li>7月 防災講座 i n 筒賀小学校など 2 件</li> <li>9月 防災講座 i n 温品福祉センター</li> <li>10月 東広島市寺西小学校</li> <li>12月 防災講座 i n 四季が丘市民センターなど 2 件</li> </ul> </li> <li>○ 28年度から新たに，防災・河川環境教育の取組強化として，教育現場と連携・協力し，防災教育の支援及び河川環境学習の支援を開始（整備局が持っている災害時のリアルな写真や映像・データなどを提供，気象台・地理院とも連携した取り組みを実施） ⇒ 学校現場での地域の防災マップ作成づくり支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 継続して取り組む。</li> <li>○ 継続して取り組む。</li> <li>○ 継続して取り組む。</li> </ul>	<p style="text-align: center;">（※2）防災関係講座テーマ数 ～ 19（広島県内）</p>
--	--	---	--

## 【広島市】

行動目標	H28 年度の取組状況等	H29 年度の取組等	課題等
知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各区役所において転入者に対して、ハザードマップ等により災害危険箇所、避難場所等を周知</li> <li>○ ハザードマップのホームページへの掲載</li> <li>○ 広報誌（市民と市政5月15日号、3月1日号）、ホームページ、広報番組（ミチル殿これ見て一見落着）等により災害危険箇所の確認方法等を周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 継続して取り組む。</li> <li>○ 指定緊急避難場所及び指定避難所について避難場所の種別、災害種別ごとの適応表示、海拔表示、多言語表示を記載した標識を設置【新規】</li> <li>○ 29.4.1 から「広島市防災ポータル」の運用開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 広島県バス協会からの取り組み状況にかかる課題にあった普及啓発用のポスターについて、広島市で作成した「広島市防災ポータル」のポスターの掲載をお願いしたい。</li> <li>○ 平成29年4月1日から運用を開始した「広島市防災ポータル」へのリンクを貼ってほしい</li> </ul>

<p>察知する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 防災情報メールの登録促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災教室，出前講座，防災訓練，広報誌，広報番組，ホームページ等を通じた防災情報メールの登録促進</li> <li>・ 防災情報メールへ登録しやすくするため迷惑メール設定解除方法を記載したリーフレットの作成・配布</li> <li>・ 災害時応援協定締結企業等への防災情報メールチラシの配置及び社員等への登録呼びかけ</li> <li>・ 市内の14の大学の新生を対象として入学のオリエンテーション等を活用するとともに，広島市PTA協議会の広報紙（7月号）の記事掲載や成人祭（1月）でのチラシ配布</li> <li>・ スーパーのレシートを活用した登録呼びかけ</li> </ul> </li> <li>○ 避難勧告等の避難情報の住民への伝達 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 避難勧告等の避難情報の住民への伝達</li> <li>・ 防災行政無線，防災情報メール，ホームページ，SNS（ツイッター，フェイスブック），テレビ（データ放送を含む。），FAX（聴覚障害者用），緊急速報メール，サイレン，広報車等を通じて，避難情報を伝達</li> </ul> </li> <li>○ 避難勧告等の避難情報の伝達及び入手方法の周知 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緊急速報メールの積極的な活用による避難情報の伝達</li> <li>・ 防災教室，出前講座，イベント等の機会を利用した避難情報の入手方法周知</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 継続して取り組む。</li> <li>○ 継続して取り組む。</li> <li>○ 継続して取り組む</li> <li>○ 広島市防災ポータルにより避難情報（避難準備情報・高齢者等避難開始，避難勧告等）や避難場所等の開設情報，雨量・水位などの観測情報を提供 【新規】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 防災に関心が少ない市民に対する防災メールの認知度が低いと思われる。</li> <li>○ 避難情報の種類や意味についての認知度不足。</li> </ul>
-------------	--	---	--

<p>行動する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ まちあるきや防災マップ作成を支援するため、防災士等の防災専門家を派遣</li> <li>○ 自主防災組織による防災訓練や防災講演会の開催</li> <li>○ 地域特性を踏まえた防災訓練の指導・助言</li> </ul>	<p>継続して取り組む。</p>	
<p>学ぶ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自主防災組織、企業、学校等を対象とした防災講演会、防災研修、防災教室の開催</li> <li>○ 広島市総合防災センターにおける防災研修の実施</li> <li>○ まちあるきや防災マップの作成を支援するため、防災士等の防災の専門家を派遣</li> <li>○ 防災訓練等の実施予定をホームページに掲載し、市民へ周知</li> <li>○ 住民、企業、防災関係機関等の参加による総合防災訓練、避難訓練を実施</li> </ul>	<p>継続して取り組む。</p>	
<p>備える</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 出前講座、防災訓練、ホームページ等を通じて、懐中電灯、着替え、常備薬などの非常持出品の備え及び消費期限の確認の必要性を周知</li> <li>○ 企業や各種団体が開催する防災イベントと連携し、非常持出品等の備えの啓発</li> <li>○ 自主防災組織等への出前講座等の開催</li> <li>○ 防災士養成講座等を通じて97名の防災リーダーを養成</li> </ul>	<p>継続して取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 推進会議委員のHPなどで公開している防災に関する普及啓発コンテンツのリンクを、広島市HP上で公開している行動目標ごとのコンテンツ内に掲載する。</li> </ul>	<p>養成者数の確保及び養成後の活動支援</p>

## 【坂町】

行動目標	H28 年度の取組状況等	H29 年度の取組等	課題等
知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全町民を対象とした大雨土砂災害避難訓練を 6 月に実施（H23 から総合防災訓練のない年に実施）</li> <li>○ 全町民を対象とした地震・津波災害避難訓練を 10 月に実施（同上）</li> <li>○ 「地震防災マップ」・「津波・高潮ハザードマップ」を転入者等に配布し啓発を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 6 月に実施予定</li> <li>○ 10 月に実施予定</li> <li>○ 継続して取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 避難訓練参加者の減少</li> </ul>
察知する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 防災行政無線により災害情報を周知すると共に、町の自主避難先の開設情報や高台等への駐車場確保に関する情報を周知(※)</li> <li>○ 登録者数の少ない地区の会長や役員の方に、町の登録制メールに登録していただき、メールで災害情報や避難所等の開設情報を周知</li> <li>○ エリアメールによる災害情報の周知（NTT ドコモ、KDDI、ソフトバンク）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 継続して取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(※) 6/21, 6/23 の避難勧告の際などに実施</li> <li>○ 登録制メールの登録数が少ない地域がある</li> </ul>
行動する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全町民を対象とした大雨土砂災害・地震津波災害の避難訓練により、事前に各種災害ごとの避難場所を知っていただき、自ら判断して避難できる体制を整備。また、避難所開設訓練や救急教室等、備蓄物資の仕分け・配給を実施予定</li> <li>○ 避難施設についても、いち早く開設する体制を整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 継続して取り組む。</li> </ul>	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各地域の住民が、自ら判断して避難する体制を整えるため、町内に16箇所ある住民福祉協議会から、防災リーダーの候補者を選出していただき、「防災リーダー養成講座」を開催（H28.4～H29.2）</li> <li>○ 消防団と協働し、町内全地域の災害に対応可能な体制を整備（※）</li> </ul>	<p>継続して取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 防災リーダー養成講座の内容のマンネリ化や未参加者への啓発（「学ぶ」において同じ）</li> </ul> <p>（※）災害が起こりそうな場合、各地区で消防団が待機</p>
学 ぶ	<p>防災リーダー養成講座を6回ワンセットで開催（H28.4～H29.2）</p>	<p>継続して取り組む。 （H29.4～H30.2 予定。6回ワンセット）</p>	
備 える	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各種災害時避難訓練実施説明会等において、非常時に各人がすぐに避難できる体制がとれるよう、非常持出品の準備を提唱</li> <li>○ 公共施設において非常持出品の準備を提唱。また、避難訓練の際などに啓発。</li> </ul>	<p>継続して取り組む。</p>	

## 【広島県教育委員会】

行動目標	H28年度の取組状況等	H29年度の取組等	課題等
知る	ハザードマップ等を活用し、災害危険箇所、避難場所、避難経路を確認。訓練実施後に避難場所・避難経路等の見直しを実施するよう指導した。	継続して取り組む。	
行動する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ まち歩きや防災マップの作成による災害危険箇所等の確認</li> <li>○ 一斉防災訓練への参加や避難行動の確認</li> <li>○ 災害種別に対応した危機管理マニュアルの作成・見直し</li> </ul>	継続して取り組む。	より実効性のある避難訓練の実施を検討する必要がある。
学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 町内会、自主防災組織等、地域と連携した防災訓練の実施</li> <li>○ まち歩きや防災マップの作成による災害危険箇所等の確認〔再掲〕</li> <li>○ 学校における防災教育の推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災教育を推進するための教職員研修の実施</li> <li>・ 学校安全担当者を対象とした避難所運営を想定したHUGを使用した図上訓練の実施</li> <li>・ 「防災教育の手引」を活用した「防災に関する授業」の推進</li> <li>・ 共通の教材を活用しての、災害危険箇所、避難場所、避難経路等について、全学校及び家庭における確認</li> <li>・ 専門機関等と連携した防災教育等の推進</li> </ul> </li> </ul>	継続して取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域と連携した防災教室の実施をさらに広めていく必要がある。</li> <li>○ さらに実践的・効果的に防災教育を進めるために、各学校で作成している「学校安全計画」等に防災教育を位置付け、体系的に推進できるようにする必要がある。</li> </ul>

## 【広島県】

行動目標	H28 年度の取組状況等	H29 年度の取組等	課 題 等
知 る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 災害危険箇所、避難場所、避難経路の確認の促進               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域、企業、学校等の参加による「一斉防災教室」(5/16～6/6) →参加者 52 万人(目標 50 万人)</li> <li>加えて、生協ひろしまの協力の下、組合員(18 万人)に教材配布</li> <li>・ テレビ・ラジオ等を通じた定期的な広報</li> <li>・ 防災教室、広報誌、広報番組、イベント等において、「広島県防災 Web」やポータルサイト「広島県『みんなで減災』はじめの一步」などの利用促進</li> <li>・ 「みんなで減災」推進大使による、イベント等(「ひろしまバスまつり」、「空の日まつり」他)における呼びかけ</li> <li>・ 28 年度から新たに、県内企業を訪問し、従業員及びその家族による実施を働きかけ(138 社訪問)</li> <li>・ 事業者向けセミナーの実施(2/21・53 社)</li> <li>・ 事業者向けに「防災ポケットカード」を作成し、希望者に送付</li> <li>・ 県医師会並びに県歯科医師会及び市町と連携し、病院や診療所等にハザードマップの掲示</li> </ul> </li> <li>○ 土砂災害警戒区域等の指定に係る取組               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 28 年度末までに、138 小学校区の基礎調査に着手・実施。指定地域住民への説明については、54 小学校区で実施している。</li> <li>・ 県ホームページで基礎調査の結果や指定区域を随時更新して周知を行い、関連する年度別基礎調査計画及び基礎調査範囲や説明会開催予定もホームページに掲載</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 継続して取り組む。               <ul style="list-style-type: none"> <li>加えて、推進大使による、啓発機会の増加を図る。</li> </ul> </li> <li>○ 継続して取り組む。               <ul style="list-style-type: none"> <li>なお、基礎調査については、193 小学校区を着手・実施予定。指定地域住民への説明会は、118 小学校区で実施予定</li> </ul> </li> </ul>	

<p>察知する</p>	<p>○ 気象情報・防災情報の意味の周知や、防災情報メールへの登録促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 報道機関との連携による、テレビ、ラジオ等を通じた、定期的な広報の実施〔再掲〕</li> <li>・ イベント（9/19「バスまつり」、10/16「空の日まつり」）等における、「みんなで減災」推進大使による周知</li> <li>・ 広報誌、広報番組、防災イベント等を通じた防災情報メールの登録の呼びかけ</li> <li>・ 28年度から新たに、県内企業を訪問し、従業員及びその家族による登録を働きかけ</li> <li>・ 事業者向けに「ポケットカード」を作成し、希望者に送付</li> </ul> <p>○ テレビのデータ放送などによる避難勧告等の防災情報の提供</p>	<p>○ 継続して取り組む。</p> <p>加えて、災害から命を守るために欠かせない情報を一括配信できるよう、県防災情報メールの改修を行う。【新規】</p> <p>○ 継続して取り組む。</p>	
<p>行動する</p>	<p>○ 災害の状況に応じた適切な避難行動等の周知や防災訓練等への参加の呼びかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 報道機関との連携による、テレビ、ラジオ等を通じた、定期的な広報の実施〔再掲〕</li> <li>・ イベント（9/19「バスまつり」、10/16「空の日まつり」）等における、「みんなで減災」推進大使による周知</li> <li>・ 一斉防災教室の実施（5/16～6/6）〔再掲〕</li> <li>・ 市町と連携し、地域で行われる防災教室、防災訓練の実施予定を、ポータルサイト「広島県『みんなで減災』はじめの一歩」に掲載（「学ぶ」について同じ）</li> <li>・ 28年度から新たに、県内企業を訪問し、従業員及びその家族に訓練等への参加を働きかけ</li> </ul> <p>○ 一斉地震防災訓練の実施（11/4） 参加者約64万人（目標50万人）</p>	<p>○ 継続して取り組む。</p> <p>加えて、「広島県『みんなで減災』はじめの一歩」を改修し、短時間で効果的に学べる防災教室・訓練教材の作成などに取り組む。【新規】（「学ぶ」において同じ）</p>	

<p>学 ぶ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 一斉防災教室の実施（5/16～6/6）〔再掲〕</li> <li>○ 一斉地震防災訓練（11/4）の実施に合わせ、地震に備えるための学習教材を新たに作成し、希望者に配布</li> <li>○ 報道機関と連携した定期的な広報により、防災教室や防災訓練等への参加促進、災害から命を守る行動などについて周知〔再掲〕</li> <li>○ イベント会場や商業施設等において、「みんなで減災」推進大使による気象や防災に関する講演会や防災教室等を実施〔再掲〕</li> <li>○ 事業者向けセミナー（2/21）において、企業や事業所における防災に関する取組事例などの学習</li> <li>○ 28年度から開始した県内企業への訪問の一環として、訪問先からの要請に基づき、社内研修等のための講師を派遣</li> <li>○ 周辺の災害リスクや、連絡先などが記入でき、収集すべき正確な情報や、避難行動の種類などを簡潔に記載した事業者向けの「ポケットカード」を新たに作成し、希望者に配布</li> <li>○ 8.20土砂災害やH22庄原災害に関する写真を地域住民などから提供を受け、469点をホームページに掲載するとともに、「土砂災害伝承パネル展」を開催 また、「ひろしま土砂災害を知る・学ぶ・伝える」ポータルサイトを開設などし、地域の災害伝承の取組を支援</li> <li>○ 県内の37の小中学校に職員を派遣し、「砂防出前講座」を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 継続して取り組む。</li> <li>○ 集客力のあるイベント（フラワーフェスティバル、福山ばらまつりなど）など、「みんなで減災」推進大使による啓発機会の拡充</li> <li>○ 継続して取り組む。</li> <li>○ 昭和42年呉市豪雨災害から50年の本年、「平成29年度土砂災害防止 県民の集い」を、呉市において開催予定5/30</li> <li>○ 女性が参画する団体・サークル等を対象にした、防災活動の女性リーダーの育成</li> </ul>	
------------	--	--	--

<p>備える</p>	<p>○ 報道機関と連携した定期的な広報により、非常持出品の備えのなどについて周知</p> <p>○ 「みんなで減災」備えるフェアを開催し、ホームセンターやショッピングセンターなどの生活に身近な場所において、非常持出品の特設コーナーを設置するなど、非常持出品として備えるべきものや、ローリングストックといった備え方の工夫などを周知</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8/27～9/11 32社, 1,604店舗参加</li> <li>・ 3/4～3/20 33社, 2,168店舗参加</li> </ul> <p>上記各期間中、「みんなで減災」推進大使による「親子で学べる防災教室」や、備蓄食料を用いた料理教室などを開催</p>	<p>継続して取り組む。</p>	
------------	--	------------------	--